



Creative Application A21

知覚とメディア実装2

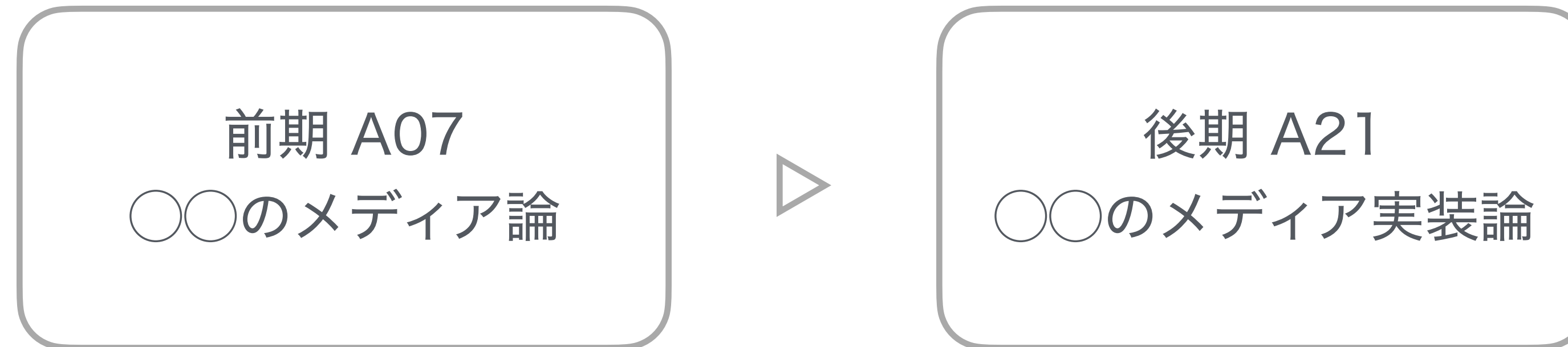
「マルチモーダル」複数知覚の融合

2023年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

受講のてびき

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます, 答えのない議論があります
- ・ 前半で1テーマの紹介, 後半でテーマを深める議論を行います
- ・ 前期と後期がリンクしています. 予習復習の参考にしてください



本日のテーマ

- ▶ **複数の知覚アクセスによるメッセージの強化**

前期概要

- ▶ **表現者による表現のメディア化の挑戦**
 - ▶ 個人の内的感覚のアウトプットをうまく他者につなげるには？
- ▶ 別の個人と自分の思考を結びつける共通点 → **美**への注目
- ▶ 美の主観性と普遍性, **普遍性への思索**

マルチモーダル

- ▶ 「複数の手段による…」などの意
- ▶ マルチモーダルは、複数知覚を活用したメディア化を試みる
 - ▶ 美を意識した知覚へのアプローチ
- ▶ 複数知覚の経路を用意する点は、アクセシビリティとも重なる

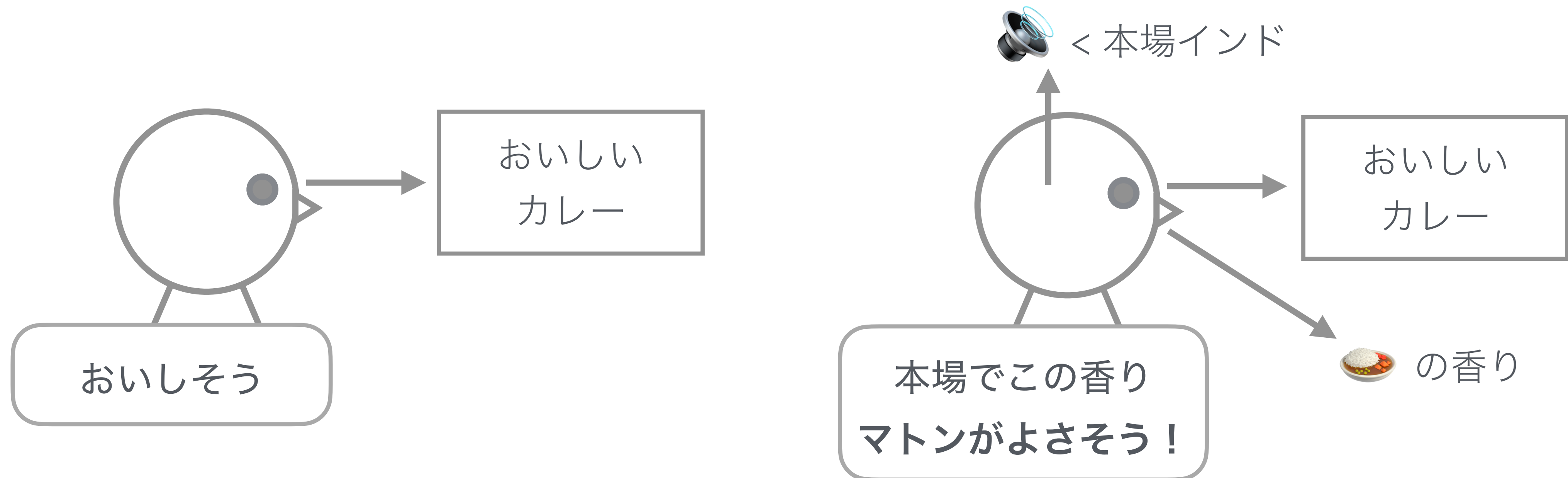
メッセージングの強化

- ▶ 複数知覚を活かしてメッセージを伝達しやすくする → **メディア化の促進**
- ▶ 強く伝わる事に加え, 認識・思考が深まる → **メディア性の向上**



解釈の変化と増加

- ▶ メッセージングを重ね合わせることで新たな発想が生まれる
- ▶ **豊かな解釈が想起される → 発露した新たなメディア特性**



まとめ

- ▶ 複数の知覚へアクションしてメッセージの伝達を図る
- ▶ 受信者は複数の知覚刺激を合わせて、メッセージを読み解く
- ▶ マルチモーダル
 - ▶ メッセージの伝達可能性を上げ、メディアとしての質をあげる
 - ▶ 解釈が豊かになり、解釈同士の新たなつながりが生まれる

本日の議論・考察一助

- a. アクセシビリティとマルチモーダルの関係性について考えてみたい
- b. マルチモーダルを行う際のデメリットは何であろうか
- c. **具体的なマルチモーダルの工夫と実践についての議論**

次回予定

存在とメディア実装1

「ホワイトスペース」 無いはある

参考文献

1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
3. 飲茶, 「史上最強の哲学入門」, 河出文庫, 2015
4. 飲茶, 「史上最強の哲学入門 東洋の哲人たち」, 河出文庫, 2016
5. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
6. 西田幾多郎, 「善の研究」, 青空文庫, 1979
7. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
8. 竹田青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
9. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
12. アレックス・オスターワルダー他著, 小山龍介訳, 「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」, 翔泳社, 2012
13. ティム・クラーク他著, 神田昌典訳, 「ビジネスモデルYOU」, 翔泳社, 2012
14. ティム・クラーク、ブルース・ヘイゼン他著, 今津美樹訳, 「ビジネスモデル for Teams」, 翔泳社, 2012
15. 沼上幹, 「組織デザイン」, 日本経済新聞出版, 2004